



2025年8月改訂

Webサイトを多言語化する時に 知っておくべき9つのポイント

更新されない多言語サイトにしない為に RFP や要件定義で検討すべきこと

Wovn Technologies株式会社

WOVN.io

はじめに

国内の在留外国人や新たな海外市場に向けてビジネスを展開する際には、サービスサイトやコーポレートサイトといった Web サイトの多言語化が不可欠です。







Web サイトの多言語化は、コンテンツを翻訳するだけの単純な作業ではありません。
コンテンツ担当・Web サイト開発担当・翻訳担当等、多様なプレイヤーが携わり検討・調整を行いながら進めるものです。

本資料は、Web サイト多言語化を準備する際に、通常の Web サイトの構築・運用時とは別に求められる要件定義のポイントを紹介します。Web 多言語化プロジェクト推進のための参考としてください。
また、Web 開発や翻訳を社外に発注する場合には、仕様等を策定・合意する際の参考としてください。

こんな時にお役立てください

- 要件定義・仕様検討
- 開発時のガイドライン作成・外部発注

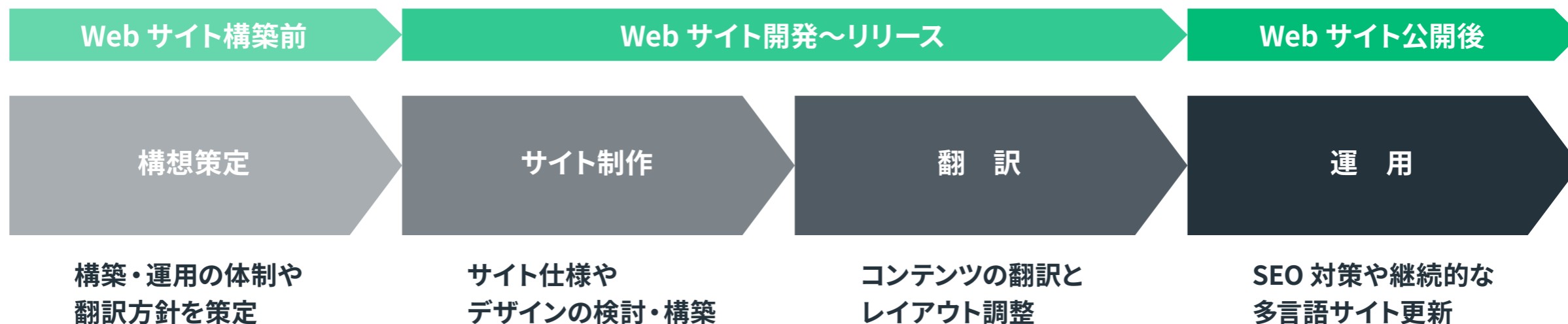
目次

1. Webサイト多言語化の全体フロー 
2. 多言語化Webサイト要件定義のポイント 
 1. 構想策定フェーズ 
 2. サイト制作フェーズ 
 3. 翻訳・運用フェーズ 
3. WOVNについて 

1 ● Webサイト多言語化の全体フロー

Webサイト多言語化の全体フローは、図1の通りです。
次章では、このフローを実現するために要件定義する際のポイントを紹介します。

図1. Web サイト多言語化の全体フロー



2 ● 多言語化Webサイト要件定義のポイント

多言語 Web サイトの構築・運用に向けた要件定義では、
通常の Web サイトの要件項目に加えて下記を留意する必要があります。

1. 構想策定	1.1 多言語化構想	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス展開に応じた多言語 Web 発信の戦略： 多言語化の目的、対象国・言語・ドメインの優先度、展開ロードマップ（3カ年での言語拡張性等）
	1.2 体制・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ制作、翻訳、開発・運用、各責任者等を含めた体制（役割・責任） 多言語サイト構築・リリースまでのスケジュール
2. サイト制作	2.1 多言語化方式	<ul style="list-style-type: none"> 構築コストや運用フェーズのフロー・工数を考慮して決定： 言語ごとに開発・カスタマイズするか、外部 Web 多言語ツールを利用するか
	2.2 i18n 対応	<ul style="list-style-type: none"> Internationalization / 多言語化の土台をつくるコーディング・サイト設計： 翻訳除外設定、機械翻訳を意識したタグルール、言語切替ウィジェット、等
	2.3 l10n 対応	<ul style="list-style-type: none"> Localization / 国や地域ごとの表記ルールへの対応： 度量衡、通貨、改行位置、LTR/RTL 文字、年月日・姓名・住所等の表記順、等
	2.4 海外SEO・LLMOへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 多言語検索に対応するための hreflang、meta タグ等の設定 継続的な運用の体制・頻度・分析方法の定義
3. 翻訳・運用	3.1 翻訳品質	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツごとに求められる翻訳品質に応じ、翻訳方法を決定： リエディット、生成 AI、機械翻訳、ポストエディット、人力翻訳の組合せ
	3.2 翻訳運用体制	<ul style="list-style-type: none"> 多言語サイト構築・公開までの翻訳、および、公開後の翻訳更新等の体制を構築： コンテンツ担当・翻訳担当の連携フローや、翻訳者に使いやすいツールもあわせて検討
	3.3 翻訳ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> 定めた翻訳品質や自社のブランディングルール等に基づき構築したうえで、予め翻訳者と共有： 用語集、トーン、数字の表記ルール、等

2. 多言語化Webサイト要件定義のポイント

1 構想策定フェーズ

1.1 多言語化構想

Web サイト多言語化を始める際に、多言語化の目的や、優先する言語・ターゲット像等を確認します。

項目	概要	対応例等
多言語化の目的	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネス展開の方向性に依じて、なぜ、どの Web サイトを多言語化するのか、明文化して関係者間で共有する • 事業戦略との関係等 	<ul style="list-style-type: none"> • 「3. 翻訳・運用フェーズ」の考え方に影響するため、コンテンツ担当者と翻訳者で共有する • WOVN では、PJ 初期にヒアリングを通じて認識合わせを実施
対象言語	<ul style="list-style-type: none"> • Web コンテンツを届けたい地域、ターゲット顧客像、等の使用言語 (複数のケース有り) ・翻訳品質用途を特定する 	<ul style="list-style-type: none"> • WOVN では、高精度 AI 翻訳基盤「Maestro」で、最大45言語・79のロケール(言語と地域の組合せ) に対応
対象ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> • 多言語化対象のドメインを特定する <ul style="list-style-type: none"> • グローバルサイト等、複数ドメインがあるケースでは、どのドメインを対象とするか確認 • 対象ドメイン内のページ単位 (必要に応じて、コンテンツ単位/パーツ単位) で多言語化方針を確認 	<ul style="list-style-type: none"> • WOVN では、Web サイトを確認しながら導入プラン・運用フローをご提案 • 特定のコンテンツ / パーツを、言語別に作りこみたい・まず一部言語にだけ対応したい等、具体的な実装方針のご相談にも対応
展開ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> • 将来のあるべき姿に照らして、どのサイト・どの言語から、どの様な順で多言語化を進めるのか描く <ul style="list-style-type: none"> • まず EC サイトを優先し、順にコーポレートサイトやオウンドメディアも多言語化して多言語の導線を作成 • まず英語を優先し、中国語や韓国語にも順に言語拡張、等 	<ul style="list-style-type: none"> • 「2-1 多言語化方式決定」の際に、将来的な言語拡張の予定も考慮する必要がある • WOVN では、多言語化展開ロードマップ検討をご支援。実際の言語拡張の際はエンジニアいらずで対応可能

1.2 体制・スケジュール

Web サイト多言語化には、元コンテンツ、開発、翻訳の担当が携わります。社内外のリソースをアサインし役割分担・スケジュール策定を行います。

項目	概要	対応例等
体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ担当、翻訳担当、開発担当について、各責任者等を含めた体制と役割・責任を定義する 	—
コンテンツ担当	<ul style="list-style-type: none"> 元言語コンテンツの企画・制作状況を把握している、かつ、多言語化の目的やターゲット像を理解している担当が翻訳担当と連携する必要がある 	—
開発担当	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化の実装は Web 多言語化ツールで対応可能 複雑な開発を要する場合等は Web 制作会社に外注する 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、エンジニアいらずで Web サイト多言語化 Web 制作会社がいるケースでも WOVN との役割分担を定義・合意のうえで PJ を遂行
翻訳担当	<ul style="list-style-type: none"> 社内でアサインする場合は翻訳先言語のネイティブ翻訳者が望ましい 社内で対応困難な場合は外注先を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 「3.翻訳・運用フェーズ」を参考に体制や進め方を定義する WOVN では、翻訳を支援するツールのみならず、人力翻訳サービスも提供
スケジュール策定・管理	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化対象サイト・ページの範囲、言語数、各担当の役割分担等を定義したうえで、スケジュールを策定する 	<ul style="list-style-type: none"> サイト設計・実装期間のみならず翻訳ガイドラインの準備等も考慮してスケジュール調整が必要 WOVN では、要件すり合わせのうえでスケジュールをご提案

留意点：サイト種別の違いによる重点領域の違い

企業サイト、EC サイトなどサイト種別の違いによって重点領域は異なります。本資料では汎用的な項目を列挙していますので、貴社に合わせた重点領域の設定をご検討ください。

主な観点	重点項目の概要	サイト種別による重点領域の違い (観点としての例示であり、案件によって観点や重要度は変動します)		
		コーポレートサイト・ ブランドサイトなら	EC・予約系サイトなら	イントラサイトなら
体験設計	<ul style="list-style-type: none"> 言語切替 UI 設計 CTA、フォームの翻訳、等 	◎ ブランドへの配慮	◎ CV 導線に直結	△ 利便性の観点
SEO対策	<ul style="list-style-type: none"> URL 構造 (/en、.com等) hreflang, x-default meta タグ、構造化データ、等 	○ 必須 (案内用だと劣後)	◎ 必須	△ (原則不要)
翻訳アクセス 制御	<ul style="list-style-type: none"> IP アクセス Basic 認証、等 	△ (基本的に公開情報)	△ (基本的に公開情報)	◎ IP 制限等必要
分析設計 (GA, GSC 等)	<ul style="list-style-type: none"> 流入分析、CVR 翻訳ページ利用率、等 	◎ CV 解析に利用	◎ CV 解析に利用	△ (ログ取得目的)

2. 多言語化Webサイト要件定義のポイント

2 サイト制作フェーズ

2.1 多言語化方式決定

多言語化した Web サイトは継続的に維持運用する必要があります。運用フェーズの工数を想定したうえで最適な方式を選択します。

項目	概要	対応例等
Web 多言語化の方式	<ul style="list-style-type: none"> • サイト構築時、および、運用時（各言語のコンテンツを更新・追加する際）の工数・コスト等を考慮して方式を選択する • スクラッチ：言語数分のコンテンツファイルを構築し、個別にカスタマイズ • 外部 Web 多言語化ツールの利用 • 将来的に言語拡張が見込まれる場合、その拡張性の容易さ・コスト、も検討（見積）しておく 	<ul style="list-style-type: none"> • 選択結果のみならず、選択理由も含めて Web 制作会社に共有する <ul style="list-style-type: none"> • 多言語サイトリリースまでのリードタイム • コンテンツ追加・更新時の翻訳コスト • WOVN なら、元言語でコンテンツを管理し、言語数分の開発をせずとも多言語化（「3. WOVN について」を参照）
切替方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> • 構築時の切替、運用時の翻訳反映フローを検討しておく • 検証環境で構築、検証環境で翻訳・翻訳確認をしてから本番環境で公開、など 	<ul style="list-style-type: none"> • WOVN なら、検証環境からドメイン統合機能で本番環境に円滑に移行が可能 • WOVN なら、DB 上で翻訳作業・管理ができるため翻訳運用ワークフローを容易に構築

2.2 i18n対応 (1/3)

翻訳することを前提に、外国語ユーザーの UI/UX に配慮して Web サイトを構築します。

項目	概要	対応例等
言語切替 ウィジェット	<ul style="list-style-type: none"> 多言語ユーザーがつけやすい場所に設置する <ul style="list-style-type: none"> ページ共通で同じ位置、ヘッダー内、等 言語の選択肢が分かりやすいように表記する <ul style="list-style-type: none"> 全て日本語で「日本語、英語、フランス語...」と表記しないように注意、等 国旗を言語選択アイコンとするのは最適ではない。各言語は、単一の国やロケールと対の関係にあるとは限らない 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、対象言語 (+ロケール) を指定したうえでウィジェットのパターン (色や配置の位置) を選択するだけ
文字コード	<ul style="list-style-type: none"> 多言語に対応可能な文字コードで統一する 	<ul style="list-style-type: none"> UTF-8を使用する
文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"> 全ての表示言語で問題無く読めるフォントサイズを設定する <ul style="list-style-type: none"> 同じフォントサイズでも言語によって読みにくくなるケースがある 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳後の文字サイズを確認・調整する <ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、言語別の CSS カスタマイズが簡単
レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳すると、元言語と比べて文字数が増減することを考慮してレイアウトを設計する <ul style="list-style-type: none"> 日本語から英語やドイツ語への翻訳等、文字列が長くなりレイアウトが崩れるケースがある 	<ul style="list-style-type: none"> 予め十分なスペースを空けておく コンテンツ幅が自動調整されるように設定する 言語ごとに文字サイズを設定する (上記「文字サイズ」を参照) WOVN なら、レイアウト崩れも自動検知可能 (25/8 β版)
ユーザー入力欄	<ul style="list-style-type: none"> 問合せやショッピング用の個人情報入力欄は、文化的背景に留意して設計する 	表1 (次ページ)を参照

表1. ユーザー入力欄 i18n 対応のポイント

姓名の順	<ul style="list-style-type: none">言語によっては姓名の入力欄を前後反転することに留意する (例: 日本語は姓→名、欧米は名→姓)
姓名等のカナ / かな	<ul style="list-style-type: none">外国語ページでは、カナ / かな入力欄を任意にする、または非表示にする。 空欄でエラーになる場合は、自動でダミー文字列を入力する、等
住所	<ul style="list-style-type: none">国や県の記載順は国による。フリー記述、または選択式が有効「〒」は使わない (環境依存文字)
電話番号	<ul style="list-style-type: none">国際コードの入力を可能にする (日本の場合は +81)
性別	<ul style="list-style-type: none">ダイバーシティ尊重の観点から、性別の入力を必須としない、 または選択肢を工夫する

2.2 i18n対応 (2/3)

多言語サイトの UI/UX を低下させてしまう要因が無いが、確認します。

項目	概要	対応例等
単語中のスペース	<ul style="list-style-type: none"> 不要なスペースによる機械翻訳の品質低下を回避する 住所」は簡体字で「地址」だが、「住所」と記載すると「活的植物」と訳されてしまう、等 	<ul style="list-style-type: none"> 元言語の単語中で不要なスペースを予め削除する 均等配置を行うには、CSS の設定を活用する
クリック前後の画像	<ul style="list-style-type: none"> 画像のクリック (またはマウスオーバー) の前後で異なる画像を表示させるには、両方の画像を多言語化する 	<ul style="list-style-type: none"> クリック前後の画像に固有の URL を付与することで、それぞれ対応する多言語版画像に切替可能とする WOVN の画像置換なら、表示言語に応じた画像の登録・切替が簡単
リンク先 URL	<ul style="list-style-type: none"> 言語に応じたリンク先 URL は、JavaScript で生成するのではなく、a タグの URL を動的に切り替える 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN のリンク置換なら、表示言語に応じたリンク先 URL の登録・切替が簡単
外部サービス / コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> Web サイトに外部から組み込まれている SNS や動画、地図アプリ等は、Web 多言語化ソリューションの適用外 別途、多言語化対応が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化対応可能なサービスを活用する Google Map、等 言語や国ごとに組み込む外部サービスを切り替える
サイト読み上げ対応	<ul style="list-style-type: none"> 多言語サイトにおける Web アクセシビリティ向上には、スクリーンリーダーに対応できるよう lang 属性の設定が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ソースコード記載例 <html lang="en">

2.2 i18n対応 (3/3)

Web 多言語化ツールを利用する場合、機械翻訳の品質向上や翻訳運用の効率化を図るために工夫できるポイントがあります。

項目	概要	対応例等
コンテンツ記述先	<ul style="list-style-type: none"> Web 多言語化ツールを利用する場合、多言語化対象コンテンツのテキストは HTML ファイルに記述する 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化対象のテキストを CSS ファイルに記述しない テキストを画像（「こちら」画像など）で配置しない
元言語文章の考慮	<ul style="list-style-type: none"> 特に日本語では、主語・述語・目的語・係り受けなどを明確にした文章にすることで、機械翻訳エンジンが正しく翻訳できるように配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 長すぎる文章は短くする 主語・述語・目的語・係り受けなどを明確にする、等（面白い友人の話 ⇒ 「面白い友人、が話す内容」「友人の面白い話」のような区切り）
翻訳除外設定	<ul style="list-style-type: none"> Web 多言語化ツールによる翻訳データ抽出対象から除外すべきデータに対して、除外設定を行う <ul style="list-style-type: none"> 個人情報（問合せ、EC、等） 一部の動的コンテンツ（ログイン後に表示されるユーザー名、コメント数・在庫数等を示す数字、等） 住所（元言語表記のままの方がユーザーフレンドリーな場合、等） 	<ul style="list-style-type: none"> 対象箇所に共通のコーディングルールを適用する <ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、ユニークな class 名や id 名を付与しておけば一括設定で翻訳除外可能
ブロックタグ活用	<ul style="list-style-type: none"> Web 多言語化ツールで機械翻訳する場合、ブロックタグ単位で共通する文章に対しては翻訳が共有されることが多い。翻訳共有により翻訳文字数を節約できる 	<ul style="list-style-type: none"> 多用される文章はブロックタグで囲う 逆に、共通の文章で翻訳を共有したくない場合は、異なるタグを使用することで別のテキスト要素として扱う
インラインタグ	<ul style="list-style-type: none"> 機械翻訳を使用する場合、テキスト中にインラインタグを多用すると翻訳品質に影響する 	<ul style="list-style-type: none"> インラインタグで細かく区切りすぎない WOVN では、機械翻訳を賢く使うためのコツをご提供

2.3 l10n対応

i18n を行ったうえで、l10n (対象言語や国・地域ごとの表記ルールへの対応) を意識した翻訳やレイアウト調整が必要です。

項目	概要	対応例等
改行位置	<ul style="list-style-type: none"> 言語によっては改行ルールを守らなければ意味が正しく通じない タイ語、ベトナム語、等 	<ul style="list-style-type: none"> 頻繁な改行を起こしにくいレイアウトを設計する サイト公開前に、ネイティブ翻訳者がブラウザで確認を行う
書字方向 (LTR / RTL 文字)	<ul style="list-style-type: none"> 右から左に読む RTL 言語を表示する際は、レイアウトも反転させる アラビア語、ペルシア語、等 	<ul style="list-style-type: none"> ソースコードに直接書き込む、Web 多言語化ツールで実装する、等 WOVN なら、言語ごとの CSS カスタマイズが簡単
通貨・度量衡	<ul style="list-style-type: none"> 対象言語・地域で使用されている単位に変換するルールを策定する EC サイトで表示する価格、商品サイズ、梱包サイズ、重量、等 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳を外注する際は、予め定めた単位変換ルールを共有する
日付	<ul style="list-style-type: none"> 年号 (昭和、平成、等) や漢字表記の曜日 (月、火、等) は、機械翻訳で問題を起こしやすいため避ける 国により月日の記載順が逆であることに留意する 	<ul style="list-style-type: none"> 年月日の順に固定して記載することで、(ベストで無いにしても) より誤解を起こしにくい表記にすることが可能 2021/5/6(Thu)、2021.05.06(Thu)
数字の桁区切り・ 小数点	<ul style="list-style-type: none"> 価格等の数字の桁区切りや小数点は、国により「,」「.」「スペース」等の使い方が異なる。対象国ごとの表記方法に合わせる、または、元言語の表記方法で統一する 	<ul style="list-style-type: none"> 国により表記が異なる 4,598,000.00、4 598 000,00、4.598.000,00
句読点	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーのブラウザのフォント設定に依存せず正しく表記できるように設定する 繁体字は日本語と句読点の配置・記号が異なるが、フォント設定によっては正しく反映されない 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、言語ごとの CSS カスタマイズが簡単

2.4 海外SEO・LLMOへの対応

対象言語での SEO・LLMO 対策を行います。

項目	概要	対応例等
検索エンジンへの適切な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 言語別の sitemap.xml の設定 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、Proxy 方式で導入することで sitemap.xml を自動で多言語化可能
meta タグでの言語指定	<ul style="list-style-type: none"> 検索エンジン が Web サイトをインデックスする際に各言語版サイトの URL を判別できるよう、hreflang 属性や lang 属性で明示する 	<ul style="list-style-type: none"> ソースコード記載例 <ul style="list-style-type: none"> <code><link rel="alternate" hreflang="en" href="https://hogehe.com/en "></code>
meta タグ内容の翻訳	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーの検索にヒットした際に、サイト / ページのタイトルや概要が対象言語で表示されるよう、meta タグ内の内容を翻訳する 	<ul style="list-style-type: none"> title タグ、description タグ等の内容を対象言語に翻訳する <ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、Web ページ登録時に meta タグ内容も検知して翻訳
検索ワード最適化	<ul style="list-style-type: none"> 言語別に最適な検索ワードを分析し、meta タグに適用する 	<ul style="list-style-type: none"> Google サーチコンソール等を用い、Web サイトが言語別にどのように検索されているかを分析し、各言語毎に meta タグを最適なワードに修正
検索エンジンへのコンテンツ提示	<ul style="list-style-type: none"> 検索エンジンが多言語コンテンツを拾いやすくするために、大事な情報は静的コンテンツとして実装 	<ul style="list-style-type: none"> 検索エンジンに提示したいコンテンツは、極力静的コンテンツとして実装
運用体制・頻度・分析方法	<ul style="list-style-type: none"> サイトリリース後、継続的に海外 SEO 対策を改善するための体制を検討・構築する <ul style="list-style-type: none"> 担当のアサイン / 分析・改善の頻度を決定 / 分析ツールの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化しただけで海外からのアクセスが増えるとは限らない。各国に応じた運用が必要であり、そのための体制準備は重要

なお、テクニカルな面においては、現時点では LLMO 対策は、SEO 対策を確実に行うことで大部分は賅うことができると判断しています。一方で、SEO 対策に比べて LLMO 対策では、キーワード的な表現よりは、“より深く意味的解釈”に重点が置かれるため、コンテンツそのものの意味・意図・内容が大事になります。詳しくは、こちらの資料もご参照ください ▶



2. 多言語化Webサイト要件定義のポイント

3 翻訳・運用フェーズ

3.1 翻訳品質

多言語化の目的や Web サイト自体の目的に応じて、翻訳品質と翻訳方法を決定し、コンテンツ担当者と翻訳者で認識を共有します。

項目	概要	対応例等
翻訳範囲	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化対象サイトのページ (URL) 別に翻訳の必要性 / 優先度を一覧化する 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳サービスは文字数で課金するケースが多い。多言語化目的を踏まえ、翻訳優先度を決定する
翻訳品質・翻訳方法	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツごとに求められる翻訳品質に応じ、翻訳方法を決定する： <ul style="list-style-type: none"> リエディット、機械翻訳、ポストエディット、人力翻訳を組合せる タイトルはニュアンスを保つため人力翻訳、商品説明は正確性が重要だが文字数が多いため機械翻訳+ポストエディット、等 	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ担当者と翻訳者で認識を合わせる WOVN では、PJ 初期にヒアリングを通じて認識合わせを実施
リエディット	<ul style="list-style-type: none"> 機械翻訳にかける前に元言語コンテンツを編集することで、機械翻訳後の文章の質を向上する 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN では、機械翻訳を賢く使うためのコツをご提供 表2 (次ページ)を参照
機械翻訳	<ul style="list-style-type: none"> Web サイト上の大量の情報、かつ継続的に更新される情報を翻訳し続けるには機械翻訳が効果的 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN では、生成 AI や業界用語集などに対応している、高品質 AI 翻訳基盤『Maestro』をご提供
ポストエディット	<ul style="list-style-type: none"> 機械翻訳されたテキストに人が確認・編集を行うことで質を向上し、メッセージを正しく適切に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN では、人と機械による (Human Computation) レビュー翻訳『WOVN.copilot』をご提供 (オプション)
人力翻訳	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳品質の優先度が高い部分は人力翻訳が効果的 <ul style="list-style-type: none"> ブランディング観点で表現に留意すべき内容、雰囲気や情緒性を重視する内容、等 	—

表2. 機械翻訳を利用する場合に回避すべきポイント (例)

語句のばらつき	ズボン パンツ スラックス トラウザー
環境依存の文字・記号	③、↔、〒、𑀧
和製英語	ワイシャツ、マンション、バーゲン、モーニングサービス
不明瞭な係り受け	<p>× 『とても大きな港区の建物です。』</p> <p>○ 『港区にあるとても大きな建物です。』</p>
省略された文章	<p>× 『雷おこしどうぞ!』</p> <p>○ 『雷おこしをどうぞお食べください!』</p>
体言止めの文章	<p>× 『2バーツ高で141バーツ。』</p> <p>○ 『2バーツ高で141バーツとなった。』</p>

3.2 翻訳運用体制

使用する言語ごとに、Web での情報発信におけるガイドラインを策定します。対外的なブランディングや、表記ゆれ防止を通じた UX 向上のために必要です。

項目	概要	対応例等
翻訳運用体制	<ul style="list-style-type: none"> 多言語サイト構築・公開まで、および、公開後に元言語コンテンツを更新する場合の翻訳体制を構築する コンテンツ担当と翻訳担当の連携 海外 SEO 対策とあわせて実施できるか 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN では、最適な運用体制検討をご支援
翻訳更新フロー	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳方法・運用体制を踏まえてフローを構築する 特に人力翻訳・ポストエディットが必要な場合は、翻訳対象箇所の検知から、反映までフローが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 機械翻訳のみで対応する場合、WOVN なら元言語コンテンツの更新を自動検知・自動翻訳・自動公開が可能 ポストエディットや人力翻訳を行う場合、WOVN なら、翻訳者自身が翻訳対象箇所を判別して翻訳・公開実施
翻訳編集ツール	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳者が、対象箇所を判別し、翻訳を行い、翻訳結果を画面上で確認し、必要に応じて調整する 過去の翻訳が蓄積され、社内の翻訳資産として活用できることも重要 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、部分ごとに翻訳者が翻訳要否を判別可能なため、コンテンツ担当者とのやり取りを削減可 新規追加箇所 (翻訳必要)、ポストエディット済の箇所 (翻訳不要)、人力翻訳済でポストエディットが不要な箇所 (翻訳不要)、等 WOVN なら、翻訳者が翻訳後にブラウザ上で確認のうえ、調整可能

3.3 翻訳ガイドライン

元言語・翻訳での表記ルールやトーンを社内で決定したうえで、翻訳者に予め共有します。

項目	概要	対応例等
用語集	<ul style="list-style-type: none"> 社外発信における表記を統一するため、特定の用語の対訳（用語集）を対象言語ごとに準備 <ul style="list-style-type: none"> 社名、商品名、業界用語、等 	<ul style="list-style-type: none"> WOVN なら、用語集をシステムに登録して自動反映。反映された用語はハイライトされるため、翻訳者が容易に認識可能 WOVN の翻訳チームに対訳の精査や作成を依頼可能なプランも有り
トーン	<ul style="list-style-type: none"> ページ / コンテンツに応じたトーンの設定 (ビジネス調、カジュアル調、等) 	—
数字の表記ルール	<ul style="list-style-type: none"> 日付、度量衡、通貨、数字の桁区切り、等について、予め社内で決めた対象言語ごとのガイドラインに基づいて翻訳を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細は「2.3 l10n 対応」を参照
その他参考情報	<ul style="list-style-type: none"> 対象サイトの多言語化の目的や、背景情報の理解を促す情報を翻訳者に共有すると効果的 <ul style="list-style-type: none"> Web サイトのターゲット像 商品・サービス情報の詳細 トーン等の参考となる Web サイト 	—

3. WOVNについて

WOVN.ioが、多言語化の悩みを解決

Web多言語化AIソリューション

WOVN.io

国内外18,000サイト以上が利用する Webサイト多言語化AIソリューション

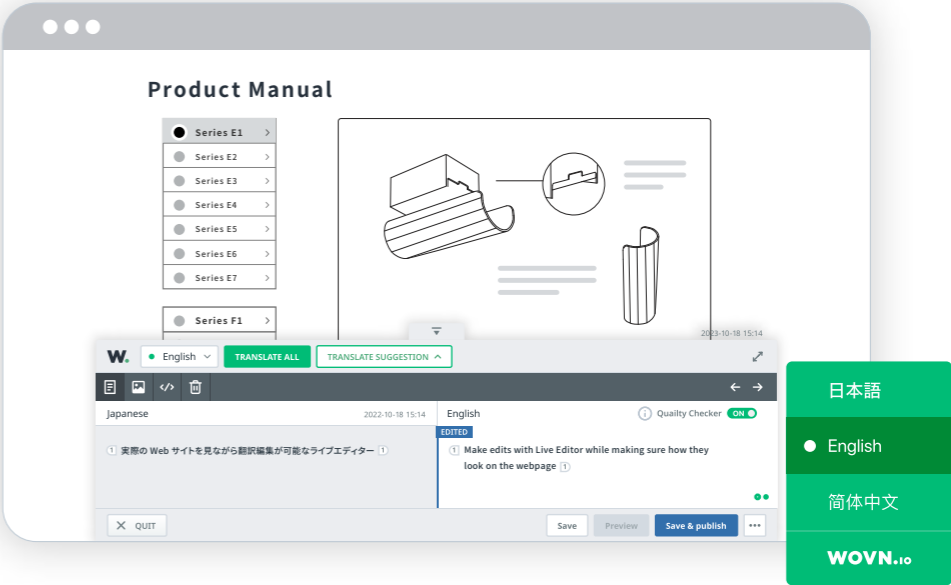
WOVN.io は既存の Web サイトを最大45言語に多言語化し、運用を自動化できるサービスです。導入前のヒアリングから導入後の運用支援までトータルにサポートいたします。

翻訳したページ数
15,000,000

翻訳したサイト数
18,000

対応言語数
45言語

年間アップデート数
250



実績に基づくWeb多言語化サポート

業界問わず、大手企業をはじめとした18,000以上のWeb・アプリの多言語化をご支援しています。



一部抜粋、2025年8月末時点

WOVN.ioの価値

WOVN.io なら、従来の Web サイト多言語化における課題をすべて解決。
本来あるべき理想的な多言語サイトの運用を、簡単に実現できます。

WOVN.io なら「本来あるべき多言語サイトの運用」を簡単に実現



運用負荷・コスト低減

未翻訳箇所を自動で検出・翻訳[※]。
日本語のコンテンツを更新して
おけば、**ほぼ自動で多言語運用**。

※世界30の国と地域における特許技術



安心できる翻訳品質

AI 活用を含めたさまざまな翻訳方式を
ご用意しているため、**求める品質・スピード
に応じた最適な翻訳を提供**できます。



高いセキュリティ

翻訳資産を守るため、**通信・保管データの
保護、多層的な防御機能の実装、サービスの
安定稼働**など高いセキュリティを維持し
ています。

WOVN.ioの特徴 システム開発不要

WOVN.io なら既存の Web サイトに1行のスク립トを挿入するだけで多言語化可能。言語ごとの HTML や CSS 開発は不要です。

言語ごとの開発が不要、ローコードで Web サイトを多言語化 「国際化仮想化技術」

従来の多言語化

WOVN.ioでの多言語化

「WOVN.io」が自動で翻訳多言語サイトを仮想的に生成

あ 日本語サイト

A 英語サイト

啊 中国語サイト

아 韓国語サイト

```

<html>
<head></head>
<body>
<span>ワンピース</span>
<span>9,800円</span>
<span>
素敵なワンピースです</br>
花柄です。
</span>
<button>カートへ追加
</button>
</body>
</html>

```

```

<html>
<head></head>
<body>
<span>Dress</span>
<span>9,800 yen</span>
<span>
It's a nice dress.</br>
It has a floral pattern.
</span>
<button>Add to Cart
</button>
</body>
</html>

```

```

<html>
<head></head>
<body>
<span>连衣裙</span>
<span>9,800日元</span>
<span>
精致时尚连衣裙</br>
花纹
</span>
<button>加入购物车
</button>
</body>
</html>

```

```

<html>
<head></head>
<body>
<span>드레스</span>
<span>9,800 원</span>
<span>
멋진 드레스입니다.</br>
꽃 무늬입니다.
</span>
<button>장바구니에 담기
</button>
</body>
</html>

```



あ 日本語サイト

```

<html>
<head></head>
<body>
<span>ワンピース</span>
<span>9,800円</span>
<span>
素敵なワンピースです</br>
花柄です。
</span>
<button>カートへ追加
</button>
</body>
</html>

```

たった1行のスク립トを挿入するだけ

+ WOVN.io



A 英語サイト

啊 中国語サイト

아 韓国語サイト

元言語サイトを更新するだけで多言語サイトも更新されるので、運用も圧倒的に効率化。導入後の言語追加は追加開発不要、WOVN.io での設定のみで対応言語を追加。

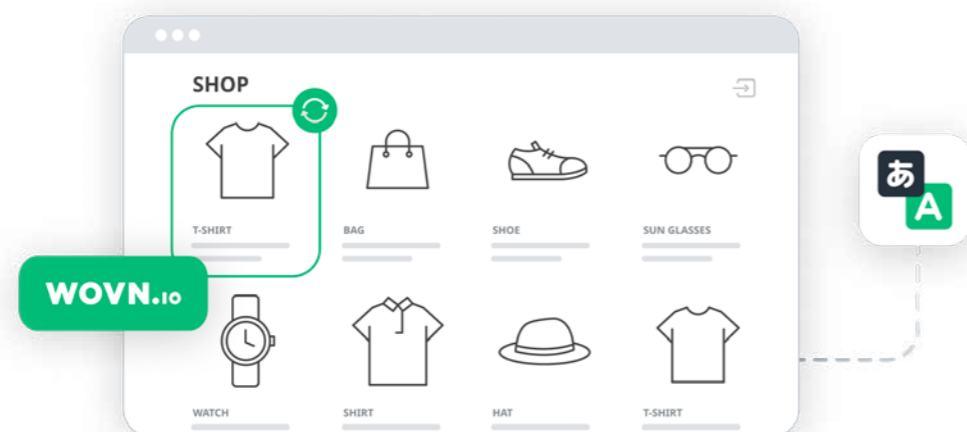
高品質AI翻訳基盤“Maestro”

Maestro は、高品質の翻訳を提供するために WOVN が独自に開発した AI 翻訳エンジンです。生成 AI の活用、50を超える機械翻訳エンジンとの連携、企業の固有名詞を正しく翻訳するためのデータベースを元に、高品質な翻訳の自動運用を実現します。



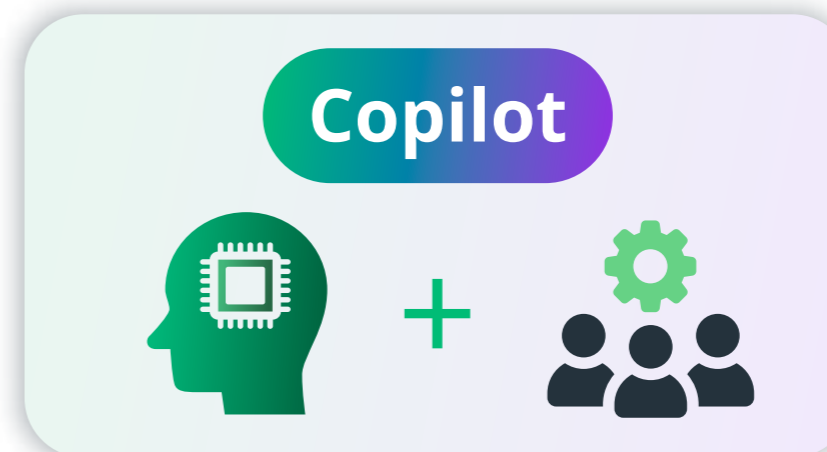
WOVN.ioの特徴 スピーディに高品質な翻訳を実現

国際特許で実現するリアルタイム翻訳 「リアルタイムモニタリング機能」



元コンテンツの追加・更新が発生した際など、未翻訳の箇所を自動で検知し、自動で翻訳・公開する機能です。動的コンテンツの多言語化も可能にします。WOVN.io のサーバーと直接通信して翻訳情報を取得する技術について、30の国・地域で国際特許を取得しています。

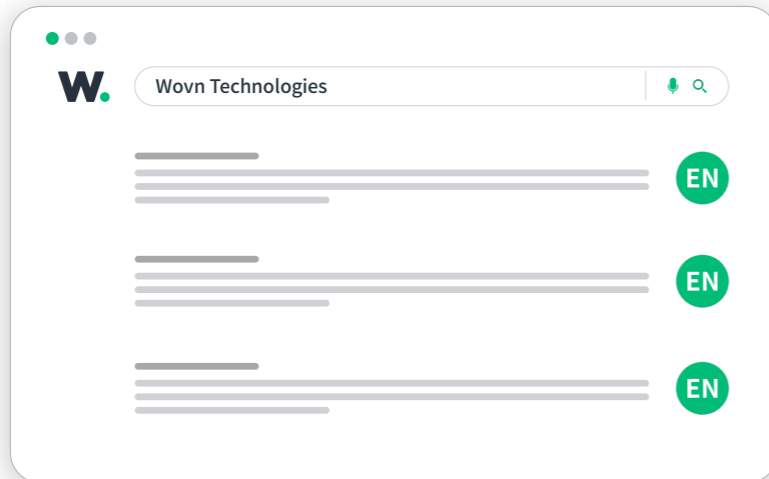
AI 活用で高品質な翻訳を自動運用 「WOVN COPILOT」



品質・コスト・スピードの全てを担保するために開発された WOVN 独自の AI 翻訳の仕組みです。機械翻訳結果を AI が評価し、必要に応じてプロの翻訳者が翻訳編集します。

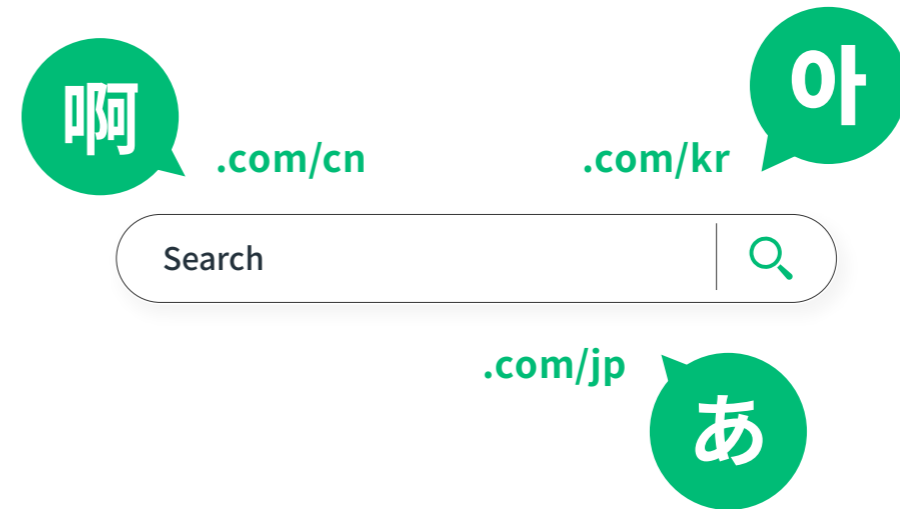
WOVN.ioの特徴 効果の出る多言語サイト運用を支援

多言語SEOを下支え 「SEO関連タグ翻訳・自動生成」



meta タグ・画像の alt 属性・構造化マークアップなど、SEO 対策を行う上で重要な箇所の翻訳や、検索エンジンが対象 Web サイトの言語を理解するために必要な hreflang タグの自動生成などが可能です。

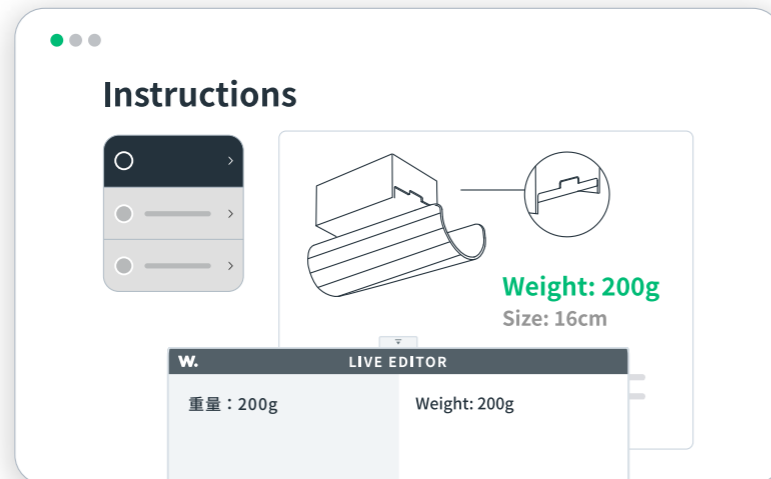
URL形式を自由に選択できる 「カスタムドメイン設定」



SEO 対策に重要な言語ごとの URL 設定も可能です。
WOVN.io では、パス方式、サブディレクトリ方式などに対応しています。

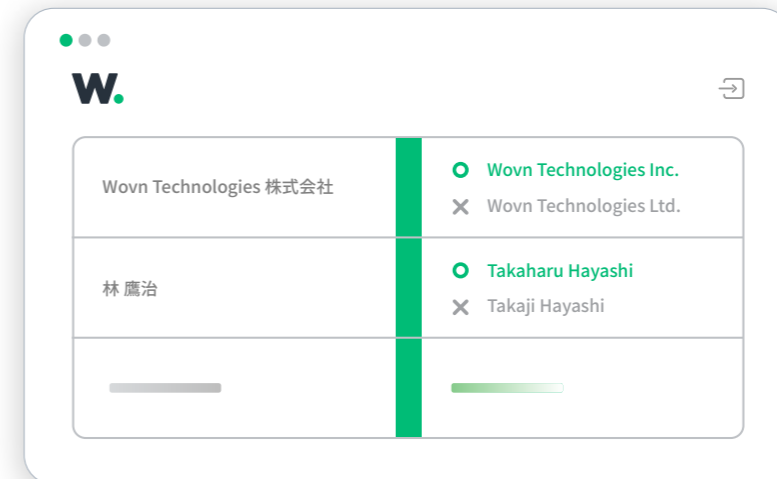
WOVN.ioの特徴 見た目も品質もハイレベルな多言語サイトを

デザインを意識しながら簡単翻訳 「Live Editor」



ほとんどの顧客にとっての情報源となる Web サイトだからこそ、UI/UX は非常に重要です。WOVN.io であれば、実際の多言語サイトの UI 上で翻訳結果を編集できるため、文字長の変化によるデザイン崩れなどに簡単に対処できます。

専門用語・固有名詞も誤訳知らず 「用語集」

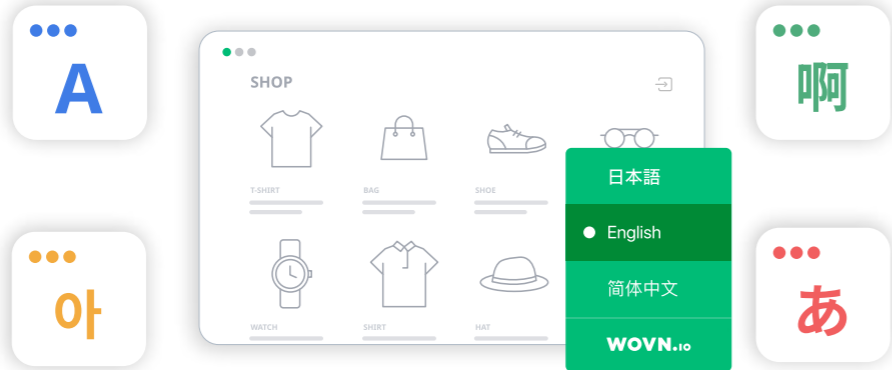


事前に用語集に登録しておくことで、機械翻訳適用時でも、業界特有の専門用語や固有名詞を正しく翻訳できます。

「何を登録すべきかわからない」場合には用語集抽出機能を、「今ある対訳集を活用したい」場合は一括アップロード機能をご利用いただくことも可能です。

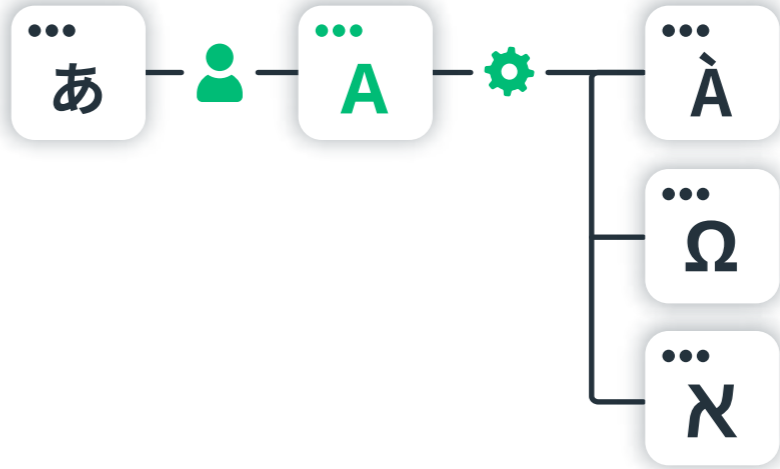
WOVN.ioの特徴 簡単に導入・高品質に多言語化

簡単言語拡張でテストマーケにも「WOVN Proxy」



お客様のサーバー構成や CMS に依存せず簡単に多言語化・言語別 URL の発行・検索エンジンへのインデックス・SEO 関連タグの翻訳が可能です。言語数を増やすことも容易なため海外展開のテストマーケとしての多言語化も体験できます。

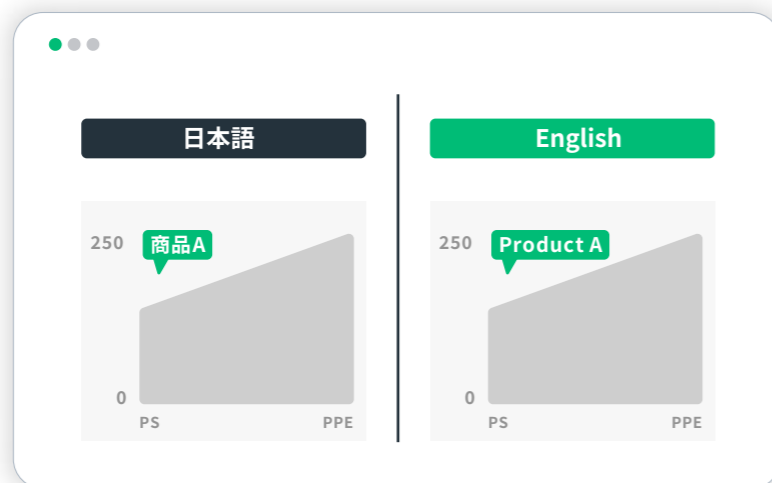
英語を元言語にして品質向上「ピボット翻訳」



日本語のコンテンツをまずは英語に人力翻訳し、その結果を多言語に自動翻訳します。英語を自動翻訳の中間言語として利用することで、日本語から直接多言語化するよりも高い精度で翻訳することができます。

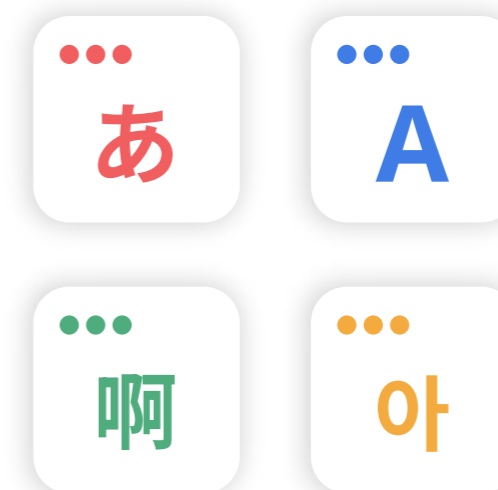
WOVN.ioの特徴 地域ごとのカスタマイズも実現

言語別に画像・コンテンツの差し替えも
「画像置換・リンク置換」



日本語の場合はこの画像・リンクを、英語の場合はこの画像・リンクを、
というように言語ごとに表示するコンテンツを変換することができます。
PDFのスペック表やカタログを言語ごとに変更したい場合などに便利に
お使いいただけます。
元画像があれば、画像翻訳・編集も可能。

「英語では非表示にしたい」も実現
「CSS編集」



元言語のプログラムには手を加えずに、多言語サイトのページデザインを
CSS編集することも可能です。
たとえば「多言語版サイトでは問い合わせフォームを非表示にしたい」
などといった場合に便利です。



その他のお役立ち資料はこちら [🔗](#)

✉ marketing@wovn.io

☎ 03-6434-0246

導入に興味のある方はこちらから [🔗](#)

記載情報は2025年8月時点のもので、導入事例は当社 Web サイトに掲載された当時の内容をもとにしています。また、各社 Web サイトの画面は各社より引用しています。